

## June bride (ジュンブライド; 6月の花嫁)

ジュン・ブライド(6月の花嫁)とはよく聞きますが、どういった由来なのでしょう。

一説によると、6月の英語名である「June」はローマ神話のユピテル(ジュピター)の妻ユノ(ジュノー)の名前から取られており、またこのユノが結婚生活の守護神であることから、6月に結婚式を挙げる花嫁は幸せになると言われているそうです(「Wikipediaより『6月』の項目」)。

このことにちなんで、今月は当県の婚姻について見てみましょう。

2006年婚姻率(人口千人あたり)

	上位5県	率	下位5県	率
1	東京都	7.06	秋田県	4.22
2	沖縄県	6.47	島根県	4.49
3	神奈川県	6.46	徳島県	4.53
4	愛知県	6.35	高知県	4.58
5	大阪府	6.03	青森県	4.67

「統計でみる都道府県のすがた」より  
総務省統計局

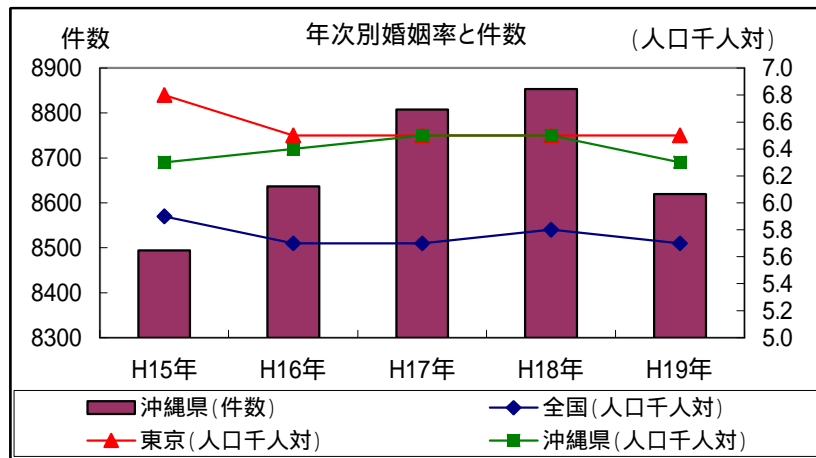
まず、婚姻率を比較してみました。

2位に当県が入っています。上位の他県と同様、若年層が多いせいかと思われます。では、婚姻率の推移を見てしょう。



全国1位の東京都を含め、全国の婚姻率と比較してみました。当県はH19年は下降方向にあります。これは全国の傾向とほぼ合致しています。

それに比して、東京はH15年は高いものの、H16は下降し、その後は横ばい状態です。



H19 人口動態統計 厚生労働省大臣官房統計情報部

2007年合計特殊出生率

	上位5県	率	下位5県	率
1	沖縄県	1.75	東京都	1.05
2	宮崎県	1.59	京都府	1.18
3	鹿児島県	1.54	北海道	1.19
3	熊本県	1.54	奈良県	1.22
5	島根県	1.53	大阪府	1.24

「統計でみる都道府県のすがた」より  
総務省統計局

女神ユノのご加護か、当県は合計特殊出生率も高い位置にあります。

九州各県が上位に入っているのも興味深い現象といえるでしょう。

また、婚姻率の高かった東京都が、この表では下位1位となっているのもおもしろい点です。

